

マンモスしんばん

2025年11月26日発行

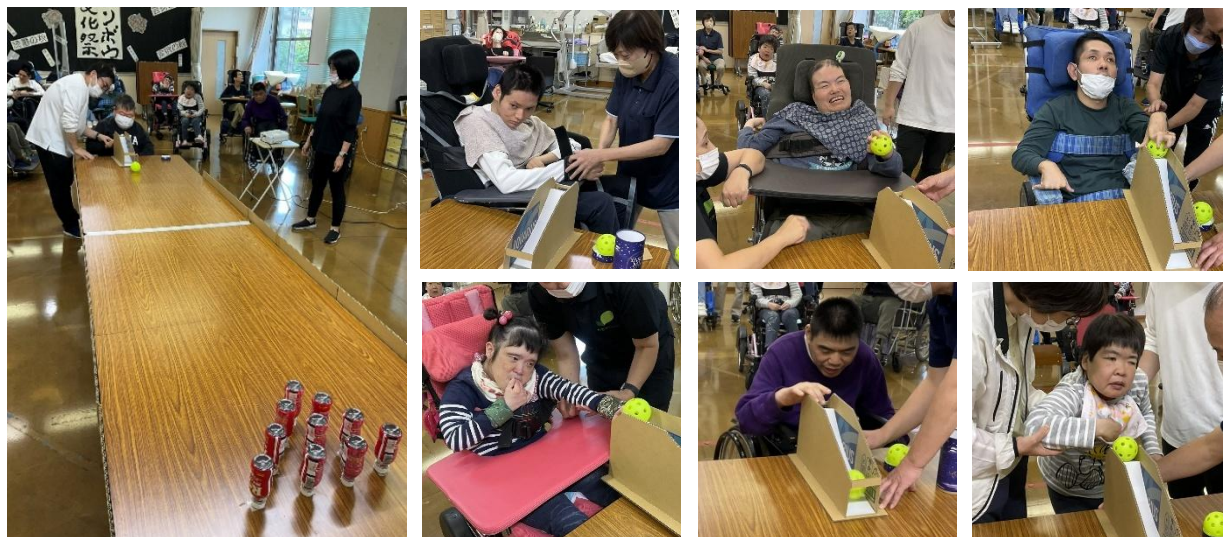
かつどうしょうかい

活動紹介～テーブルボウリング マンボウ～

レクリエーション活動の一環で、テーブルボウリングを実施しました。

テーブルボウリングとは、デイルームで日々活用しているテーブルの上で行える簡単なボウリングで、ボールを転がす投球器やレーン周りのガードをダンボール箱を切り貼りして製作し、ピンには乳酸菌飲料の空容器を使って実現しました。タイプの異なる車イスに乗るマンボウの皆さんが、自身の手を使い、自身のタイミングでボールを転がして楽しめるように、テーブルの上の投球器の高さや形状、ピンの立て方を工夫しました。

ゲームは個人戦で行い、2ゲームの総得点で競いました。自分で投球器にボールをセットし、上手に指で弾いて転がす人、ボールが気に入ったのか中々離せない人、1・2・3の掛け声と共にボールを転がす人、どうしても1位になりたくて眠気と戦いながらも頑張っている人等、マンボウの皆さんは、それぞれの個性を発揮して投球を行い、ボールの転がる様子に歓声を上げ、倒れるピンの本数に一喜一憂しながら一時を過ごし、大盛況のうちに終わることができました。



発行：たちかわししゃかいふくしきょうぎかいせいかつかいごしえんじぎょうしょ
立川市社会福祉協議会生活介護支援事業所

〒190-0013 立川市富士見町2-36-47

Tel 042-529-8353 Fax 042-529-8714

ぶんかさい ～マンボウ文化祭～ マンボウ

秋の気配が深まる中、10月31日、マンボウは『芸術の秋』『スポーツの秋』『食欲の秋』『読書の秋』をテーマに文化祭を行いました。

利用者が「好きな食べ物」「食べてみたいもの」をテーマに、貼り絵や折り紙で作品づくりに挑戦しました。お寿司、ケーキ、ラーメン、フルーツなど、色とりどりの“ごちそう”が並びました。できあがった作品は、総合福祉センターの入口に飾り、地域の方々からは「本物みたい!」との声があがっていました。

文化祭のお楽しみのひとつ、お昼の特別メニューは「チョコバナナ」。甘い香りに包まれながら、利用者が笑顔で頬張る姿が印象的でした。

午後のプログラムでは、利用者様の声を録音して作成した「はらぺこあおむし」の読み聞かせ動画を上映。ナレーションは、利用者様それぞれの個性が光る優しい語り口で、絵本の世界に引き込まれるような時間となりました。

食や芸術を通じて、笑顔と創造性があふれる一日となりました。食べ物という身近なテーマを通じて、利用者様のやってみたい気持ちや表現力がたくさん引き出されました。これからも、皆さんの想いを形にできる場づくりを大切にしていきたいです。



かつどうしょうかい 活動紹介

かんがいほこう ～館外歩行(コスモス)～

夏の間は異常高温でした。今年の8月の平均最高気温は約31度、平均最低気温でも24度だったそうです。

コスモスでは熱中症の危険を避けるため館外での歩行が出来ず。館内での歩行を実施していました。

暑さも一段落して気温も落ち着いてきたので午前中の短い時間ですが館外への歩行を行いました。

館外歩行では近くの昭和記念公園を目指し、立川口の近くの紅葉で色づいたイチョウ並木をみながら歩いたりしました。

健脚の利用者のグループでは、みどりの文化ゾーンまで行き、曙口から帰ってくる方もいらっしゃいました。

短い時間でしたが利用者の皆さんも久しぶりに館外を歩くということとても楽しそうで笑顔もたくさん見ることができました。



ハロウィン（コスモス）

10月31日、10月最終日にコスモスではハロウィンの行事を行いました。

もともとハロウィンの行事は古代ケルトのお祭りに起源をもつ民族行事なのですが、日本風に浸透しているようでハロウィンが近づくとテレビでもよく放送されていました。

利用者の皆さんも楽しみにしているのか10月の最終日が近いてくると自然とハロウィン話題を話していました。

利用者の皆さんはそれぞれ魔女やハロウィン仮装のマントやスティックを持ち、記念撮影を行いました。

ポーズを決めて写真に写ってくれる利用者もいて「にあってるね」と声が上がるなか仮装と撮影を行いました。

ハロウィンの衣装を着て紐の輪で作った電車に乗り込み、コスモスを出発しマンボウの部屋や館内をまわって仮装を披露してまわりハロウィンを満喫しました。

館内を回ってきた後はみんなでカラオケをおこなって楽しい季節行事の時間を楽しみました。



✿ 編集後記 ✿

もうすぐ12月になり年末です。1年は早いものであったという間ですね。今年も色々と利用者の皆さんと楽しく過ごしてきましたが、来年も楽しい事をいっぱいしていきたいと思います。（石）